



『バトン』大賞

受け継がれる想い

5年 K・Mさん

リレーでバトンをもらうときは、友達から「頑張ってるね」という気持ちをもらう。バトンを渡すときも「頑張ってるね」と次の友達に想いを伝える。リレーで二位になったときは、一緒に頑張った皆と一つになれたとうれしい気持ちになる。

「バトン」を読んだとき、贈り物にも色々な形があり、想いが込められ、つながっていくと感じた。そして、贈り物を通じて、その人のことを新しく知ることができる。

去年、ハーフ成人式の記念に母から着物をもらった。母からは、その着物は祖母からもらったものという話を聞かせてもらった。そして、曾祖母が戦争できれいな服を着られなかったので良い服を着させてあげたいという想いを込めて手作りしたものだという話だった。そのとき、

曾祖母はお裁縫がとても得意だったということ、どこに行っても恥ずかしくないようにと礼儀作法をしっかりと教えてくれた人と聞いた。曾祖母との思い出にバツと色がついたような気がした。

そして、初めて、曾祖母が経験した戦争の話を聞いた。曾祖母は、東京へ買い物に行っているときに東京大空襲を経験し、妹を大八車に乗せて家まで帰ったこと。甘いお菓子もなく、妹のためにみかんの木を育てたこと。みかんの花言葉は「優しさ」だということ。みかんの木は、今では毎年おいしい実をつけてくれる。

柳さんが植えたマグノリアの花言葉は、「持続性」。私も曾祖母、祖母、母へと受け継がれた優しい想いを受け継いでいきたいと思う。

最近、ウクライナで戦争が起き、私と同じくらいの年の子ども悲惨な経験をしている。洋服の寄付を通じて支援をできるということがわかり、お出かけ用に大切にしていた服を寄付した。少しでも助けになりますように、平和が訪れますようにという想いを込めて。